

令和6年9月11日

1 学期の学校評価

上越市立東頸中学校
校長 牧井 創

7月に行った学校評価アンケートや各種調査の結果を基に、東頸中学校で1学期の取組を評価・総括しました。生徒、保護者の皆さんの声を生かし、2学期以降の取組を改善・向上させていきます。

達成度（目標値以上○、目標値未満△）

重点目標「自ら学ぶ意欲を育て、確かな学力の定着を図る授業の充実」について

項目	(目標値)	結果
① 授業が分かる生徒	80%以上	95.2% ○
② 対話的な学習で理解が深まった、新しい考えが持てた生徒	80%以上	98.8% ○
③ 予習、授業、復習を意識して、学習に取り組んだ生徒	80%以上	73.5% △
④ 家庭学習時間を1時間以上している生徒	60%以上	71.1% ○

<取組の評価（成果○、課題▲）>

○関わり合いを大切に「聴く、話す、話し合う」活動を小学校から実践を積み重ねています。中学校では、特に、対話的な学習を意識して授業を構想し、実施しています。

○東頸中学校では、学習支援ソフト「ロイロノート」を導入し、モデル校としての実践を進め、対話的な学習の機会を充実させています。

▲5教科は定期テストではなく、単元テストを実施し、スモールステップで評価を行っています。日常的に学習する習慣がついてきていますが、授業と家庭学習の往還となるよう意識付けが図れるようにしていく必要があります。

○家庭学習の計画をデイリーライフにしっかり記入することを手立てとして取組を進めてきました。7割の生徒が毎日、家庭学習を1時間行っています。

<今後の取組>

- ・学習支援ソフトを活用した授業実践を重ね、対話的な学習の機会をより一層充実させます。
- ・デイリーライフを活用して、学習（家庭学習の内容、時間を記録）を自分で調整できる力を養います。

重点目標「豊かな心と主体的に生きる力を育てる特別活動の充実」について

項目	(目標値)	結果
① 自分は良いところがあるとする生徒	70%以上	79.5% ○
② 他者に認められていると感じる生徒	70%以上	79.5% ○
③ 相手の立場や気持ちを考えて行動することができた生徒	80%以上	95.2% ○
④ 学校生活に満足であるとする生徒	80%以上	92.8% ○

<取組の評価（成果○、課題▲）>

○行事ごとに、学年・クラスでの振り返りで仲間へ感謝のメッセージを交換したり、週の振り返りで頑張っていた人を紹介し合ったりする活動をとおして自己有用感が高まっています。

○体育祭などの行事、花いっぱい運動での地域と関わり合いの中で、生徒一人一人の達成感を味わわせることできたと考えています。あいさつ運動では、コミュニケーションの大切さ、社会的なスキルの向上につながっています。

○3区の中学校統合にあたり、事前の交流活動を生かして、1学期は生徒がスムーズに学校生活を送る

ことができました。

<今後の取組>

- ・生徒が主体的に学校生活を送れるように、生徒の考えを取り入れながら教育活動を進めていきます。
- ・2学期は、仲間との良さを認め合い、よりよい関係づくりができるように、球技大会、いじめ見逃しゼロスクール集会を実施します。
- ・学校運営協議会、PTA、育成会等と共に学校行事をはじめとする教育活動を行います。

重点目標「将来の生き方を考えさせる体験活動の充実」について

項目	(目標値)	結果
① 「食事」「睡眠」「うがい・手洗い」に関する質問に対する肯定的評価の生徒	80%以上	86.7% ○
② メディアマネジメントについて、家庭内で約束を決めて取り組んだ生徒	70%以上	67.8% △
③ 学校や家庭で進んで体を動かし、健康的な体作りを行っている生徒	80%以上	84.3% ○

<取組の評価(成果○、課題▲)>

○日常的な保健指導や健康指導、保健体育の授業をとおして、よりよい生活習慣を身に付けようとする生徒が増えています。

▲1 学期に実施したメディアに関する講演会は、生徒のメディアに対するリテラシーの育成に一定の効果があったが、保護者の参加が少なく親子で考える機会確保が課題と考えています。

○統合により、生徒数が増え、生徒同士で切磋琢磨する姿があり、運動する意欲につながっています。また、体育を好きと答える生徒が大勢おり、部活動だけでなく、地域のスポーツクラブに参加して体を動かしている生徒がいます。

<今後の取組>

- ・生活習慣の強調週間では、小、中のつながりのある指導ができるように連携を密に行っていきます。
- ・2学期はデイリーライフを活用して、生活習慣のチェックと改善を学校と保護者から働きかけていきます。
- ・部活動を引退すると同時に、運動する機会の減少、生活リズムの変化につながることから、委員会活動で、全校生徒が運動する機会を企画していきます。

全国学習状況調査より(3年生のみ)

全国学力・学習状況調査(4月実施)の結果より取組を評価・総括しました。国、県と比較し、突出してよいと思われる項目、これから保護者、地域の皆様とともに伸ばしたい項目を選びました。2学期以降の取組の参考にしていきます。

<肯定的な評価が特に高かった項目>

- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。

<今後、さらに伸ばしていきたい項目>

- ・自分にはよいところがあると思いますか。
- ・将来の夢や目標を持っていますか。
- ・普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか。

【2学期に向けて】

生徒、保護者の皆様へアンケートのご協力ありがとうございました。

生徒のアンケート結果より、規則正しい生活を心掛け、楽しく学校に通っている様子うかがえます。授業では、ICTを活用した授業にも意欲的に取り組み、相手の考えを大切に協力しながら課題解決に取り組もうと努力しています。また、家庭学習時間を平日から確保するように心掛け、足りない分を休日に補うようにしている生徒が多くいます。

全国調査からは、いじめに対しても絶対に許さないと考えている生徒、人の役に立つ人間になりたい、人が困っているときは、進んで助けていると答える生徒がとても多かったです。

一方、自分の長所に気づいていない、認めてくれていると実感できていない生徒が少なからずおり、自己有用感の醸成や将来の夢や目標を持たせる工夫が必要だと改めて考えさせられる結果となりました。

2学期は、授業で、学び合いを中心に、対話的で深い学びが展開できる工夫と、家庭学習をはじめ学びに向かう力の育成に重点をおき指導していきます。

また、行事などで地域と関わりながら、生徒自身が自分の良さを実感し、成長を感じられる指導をしていきます。

保護者の方からも積極的に学校行事に参加してもらえればと思います。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

上越市立東頸中学校 〒942-0314 上越市浦川原区顕聖寺350番地

Tel 025-599-2230 Fax 025-599-3960

【緊急連絡】080-7189-0470

URL <https://www.tokei.jorne.ed.jp/>

QRコード→

